

地域とともに、お客様とともに。



地域社会との共生

地域社会との共生を通して、持続可能な社会の実現と、エリア内での店舗と街づくりが一体化した買物の楽しさの実現の融合をはかることで、街区の魅力化による地域の活性化に貢献し、地域と共に中長期的に成長することを目指します。

目標

2050年 ▶ 地域、行政、小売が相互に連携しながら、当社が得意とする街の資産を活かした街づくりと環境課題の解決を両立させ、持続的かつ先進的な街づくりを実現する。

アーバンドミナント戦略の推進

当社グループが進めるアーバンドミナント戦略は、店舗を核にエリア全体の魅力化に取り組み「地域とともに成長するビジネスモデル」です。当社の戦略を進めることそのものが、地域の集客力向上や地域貢献につながる取り組みです。

2017年にはGINZA SIX、上野フロンティアタワーを開業し、エリアに新たな顧客を呼び込むことに成功しました。

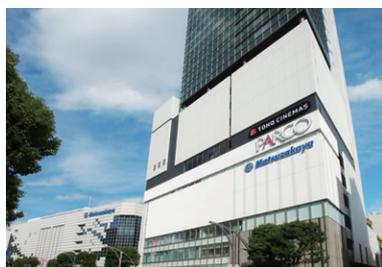
GINZA SIXでは、文化・交流施設「観世能楽堂」や、銀座エリア最大の屋上庭園、バス乗降所、ツーリストサービスセンターなどを備え、災害時の帰宅困難者受入れ環境も整備することで、地域の利便性や快適性、防災機能向上に貢献しています。また上野フロンティアタワーでは、松坂屋本館地下1階に地域の情報発信や物販・イベントを行う「上野が、好き。ステーション」を開設するとともに、「おかちまちバнда広場」で、行政や商店街とタイアップしたイベントを定期的実施しています。

2019年秋に開業する大丸心齋橋店新本館、新生渋谷パルコにおいても、地域・行政と連携して、先進的街づくりを推進することにより、エリアの魅力化に取り組んでまいります。



GINZA SIX

上野フロンティアタワー



地産地消の推進

地域の生産品をその地域で消費する「地産地消」は、地域経済の活性化につながります。大丸、松坂屋各店では、全国に店舗がある強みを活かして、地域ならではの商材の取り扱いを拡大することで、地域活性化に貢献していきます。松坂屋静岡店では、地元農園と調理製菓学校との協働による地産地消スイーツの開発・販売を行いました。



地元農園様・調理製菓学校の生徒様と、スイーツに使用するトマトを収穫

地域の大学との提携

大丸神戸店は、神戸学院大学と「地域社会の活性化と生涯学習の振興に関する包括連携協定」を締結しています。子どもたちの創造性を育むための共催事業、次世代支援、教育の推進・人材育成、防災・減災、地域振興・地域課題の解決などの9項目で連携をすすめています。

また松坂屋名古屋店と国立大学法人名古屋大学は、包括連携協定を締結しています。文化、産業、教育、学術等の分野で、名古屋大学と松坂屋名古屋店が相互に連携し、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的としています。



大丸神戸店8階みどりの広場を使って農業体験と食育のレッスンを実施。